

水辺の活用について

1.水辺空間の整備

(1)区有船着場の整備・運用

- R3年度までに7か所の船着場を整備
- R4年度までに6か所の船着場で案内サインを整備
- R4年度は7か所の船着場合計で年間約600回の利用実績あり
- 日常の管理・清掃を行うとともに、5年に一度を基本として
詳細点検を実施(R4年度は3か所、R5年度は1か所)
- 今後は管理・運営方法の効率化を検討
R5年度より五反田船着場、五反田ふれあい水辺広場船着場の
管理を(一社)大崎エリアマネジメントへ委託



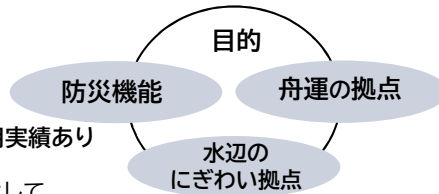
東品川二丁目船着場

利用用途
防災船着場、
舟運、区イベント、イベント
(天王洲キャナルフェス等)



東品川海上公園船着場

利用用途
防災船着場、
イベント(しながわ運河まつり等)
カヌー等非動力船の活動拠点



区有船着場一覧

名 称	住 所
しながわ水族館船着場	勝島2丁目 (勝島南運河)
東海橋船着場	北品川3丁目 (目黒川)
品川天王洲船着場	東品川1丁目 (天王洲運河)
五反田ふれあい水辺 広場船着場	東五反田2丁目 (目黒川)
東品川二丁目船着場	東品川2丁目 (京浜運河)
五反田船着場	西五反田1丁目 (目黒川)
東品川海上公園船着場	東品川3丁目 (天王洲南運河)

(2)ヒカリの水辺プロジェクト

- 目黒川や運河に架かる13の橋のライトアップ施設を整備
- 日没から22時頃まで、季節に応じたライトアップを実施
するとともに、イベントや社会運動への支援・賛同を示す
アウェアネスカラー等に合わせた特別演出を実施
- 年間のライトアップスケジュールを区ホームページで
情報を発信し、カラー変更時は広報紙等に掲載
- ライトアップで発生するCO₂排出量対策として、
カーボンオフセットの取り組みを併せて実施



かもめ橋
(季節カラー(オレンジ))



アイル橋
(ピンクリボンデー)

R5年度アウェアネスカラー実施一覧

実施期間	内 容	カラー
4/1~4/30	LGBT等権啓発	赤・オレンジ・黄・緑・青・紫
5/1~5/16	春の全国交通安全運動	緑・黄・赤
5/17~5/31	品川区・オー克蘭ト市友好都市提携30周年	赤・緑・青
6/5	環境の日	緑・白
8/8~8/10	道の日	黄・白
9/1~9/9 9/17~9/21	世界アスツハイマ月間	オレンジ
9/10~9/16	自殺予防週間	オレンジ・緑・ピンク・青
9/22~9/30	秋の全国交通安全運動	緑・黄・赤
10/1	ピンクリボンデー	ピンク
11/1~11/11	児童虐待防止月間 オレンジリボンデー	オレンジ
11/12~11/25 (11/20除く)	パープルリボンデー	紫
11/17~11/18	ティールブルーヤパンキャンペーン	ティールブルー
11/20	世界道路交通犠牲者の日	黄・白
11/10~11/7	目黒川みんなのイルミネーション	ピンク・白
2/1~2/29	ウクライナ支援	青・黄
3/1~3/31	非核平和都市品川宣言	緑

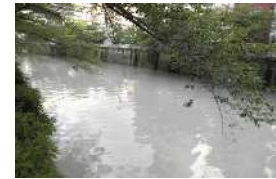
(3)河川の水質改善

①現在の目黒川・立会川の水質

- BOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準を満たしている
- 潮の影響や、大雨の際の汚水流入により、スカムや白濁化、臭気が発生しており、継続的な対策が必要
- 水質の状況を把握するため、水質調査を毎年継続して実施

②目黒川の水質改善

- 区において河川のフーチングの浚渫等の作業を実施
⇒汚泥や残置された杭、障害物等の撤去作業により
臭気・白濁化抑制と船舶航行の安全確保を図る
- 東京都と連携し、城南河川清流復活事業による再生水の導水や
御成橋からの再生水散水を実施
⇒目黒川の維持水量を確保することで水質浄化を図る
- 関係区と連携し、継続的に都に対して要望活動を実施
⇒建設局:概ね5年に1度、一部区間で河床部の浚渫作業を実施
下水道局:初期の特に汚れた雨水を貯留する施設を整備
- 目黒区が水質浄化施設を整備中(R5年度末稼働予定)



目黒川
(白濁化発生状況)



立会川河口部
(スカム発生状況)



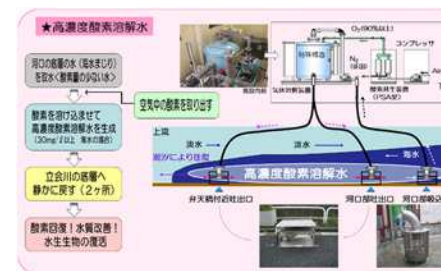
障害物撤去実施状況



御成橋からの散水

③立会川の水質改善

- JR総武線東京駅周辺の地下水(4,500m³/日)を導入
⇒自己水量がほとんどない河川の水量維持を図る
- H20年度より高濃度酸素溶解水による水質改善を実施
⇒川底付近の酸素不足を解消し、臭気・白濁化抑制を図る
- R3年度に実施した調査結果をもとに、堆積物や障害物の撤去を実施
- 下水道局が立会川及び勝島運河の水質改善に効果がある「立会川雨水放流管」を整備中



高濃度酸素溶解水のイメージ図



立会川雨水放流管の整備状況

2. 水辺の利用促進に向けた取組

(1) 舟運社会実験(らくらく舟旅通勤)

- R4年度東京都と連携し舟運通勤社会実験を実施
⇒通勤時において船の利用が有効であるかを検証
- 利用者アンケート結果からは高い満足度(約95%)が得られる
とともに、運賃設定や施設整備等の課題を抽出した

【実施概要】

期間: R4年10月17日
～11月4日
時間:
月～金(朝) 7時～10時
水・金のみ(夕) 17時～21時

実施ルート
両国～日の出～天王洲
など6航路
※ 内、品川区実施ルート
天王洲～五反田

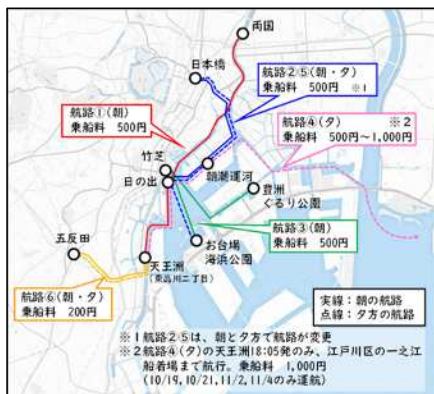
乗船料
東京都実施ルート 500円
～1000円
品川区実施ルート 200円

乗船人数	全体	品川区
夕便	1,237人	397
朝便	1,611人	623
合計	2,848人	1,020

乗船率	全体	品川区
夕便	71%	83%
朝便	14%	17%
合計	23%	25%



社会実験における船着場利用状況
(東品川二丁目船着場)



社会実験航路図

(2) 水辺を活用したイベント

- (一社)大崎エリアマネジメントと連携し、五反田ふれあい水辺広場等を会場としたイベントを実施
- 文化観光課や区内団体が企画する水辺イベントにおいて、水辺空間や区有船着場を活用
(イルミネーション、クルーズ事業、しながわ水辺の観光フェスタ等)



イベント実施状況
(五反田ふれあい水辺広場)



目黒川みんなのイルミネーション
(文化観光課、都市開発課)



品川クルーズ (文化観光課)
-区有船着場3か所を活用-

(3) 航行マナーの啓発およびルールづくり

- 舟運関係者と連携した河川や運河における安全航行啓発活動を毎年、目黒川で実施
- R4年度に目黒川の航行マナーのさらなる向上を目的に、啓発標識を6か所設置
- 非動力船の安全航行のためのルールを東京都や地元協議会等と協働して天王洲エリアで検討



安全航行啓発活動



マナー啓発標識



非動力船航行状況

3. (仮称)水辺利活用推進計画の策定

- 水辺のさらなる魅力向上、賑わい創出のため、今後実施すべきハードおよびソフトの具体的な取り組みを示した計画を令和6年度に策定

【検討概要】

上位計画: 品川区水辺利活用ビジョン など

計画期間: 10年間程度を想定

検討視点: 親しみを持てる水辺空間の創出、商店街・地域との連携、他の交通機関との連携
しながわ水族館など資源の活用、先行的に取り組む事業の選定 など

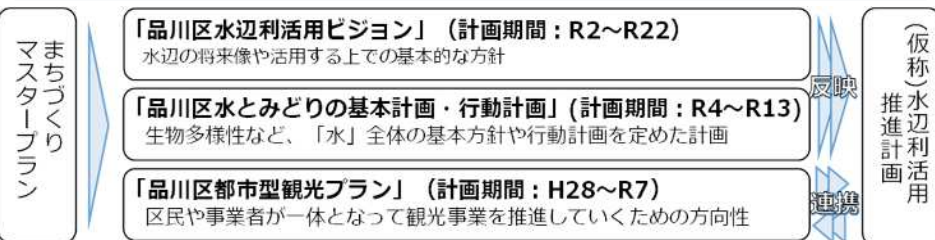
庁内体制: ハード部署とソフト部署が連携して検討を実施

(商業・ものづくり課、文化観光課、都市開発課、公園課、河川下水道課)

想定スケジュール:

[R5年度] 既存イベントや取り組みの整理、現況調査(区内、他自治体)、取り組みの方向性整理

[R6年度] 区民ニーズの把握、学識経験者や関係者等との意見交換、計画取りまとめ



上位計画との関係



水辺の取り組みイメージ
(出典: 品川区水辺利活用ビジョン)

■ 水辺に関する数値目標 (令和2年度調査)

- ① 水のきれいさや水辺空間の
区民満足度 50% (現状: 31.3%)
- ② 親しめる水辺が多いと感じる
区民の割合 50% (現状: 28.5%)
- ③ 区有船着場の利用回数
450回/年 (現状: 150回/年)

水辺に関する数値目標
(出典: 品川区水とみどりの基本計画・行動計画)

《 しながわ観光のコンセプト・目標 》

繰り返し訪れて楽しいまち しながわ

～日常の生活環境に着目した官民連携による都市型観光の推進～



しながわ観光のコンセプト・目標
(出典: 品川区都市型観光プラン)

品川区内 船着場位置図

